

# 平成26年度 学校評価実施報告書

学校名( 京都市立藤城小学校 )

## 1 平成26年度 重点評価項目

1. 確かな学力の育成(つけたい力を明確にした言語活動)
2. 豊かな心の育成(自律心と責任感の育成を目指した協働活動)
3. 健やかな体の育成(基本的生活習慣の確立、体力の向上)

## 2 1回目評価

重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定						自己評価		学校関係者評価			
・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定						・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理		評価日 平成26年8月28日		評価日 平成26年9月5日	
						評価者・組織 学校評価委員会		評価者(いずれかに○)		学校運営協議会 学校評議員	
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果		分析 (成果と課題)	自己評価に 対する改善策		学校関係者評価に よる意見	学校運営協議会・学校評議員による改善 に向けた支援策	
1	確かな学力	わかる授業の創造 情報活用能力の育成 読書活動の充実	各教科での言語活動のさらなる充実 年一人一回の研究授業 各教科におけるICT活用 情報モラルに関わる授業の取組 100冊読書の定着 朝読書の確実な実施	児童の話す・聞く態度の変容・ジョイントプログラムの結果 コンピュータやデジカメなどを使うことができますか 読書タイム以外で読書していますか。家の人といっしょに本を読んだり、図書館に行ったりしますか。 読書タイム以外には69%できているが、図書館へは45%と低くなっている。	⇒	・算数科を柱として問題解決学習に焦点を当てた学習指導が少しずつ定着してきた。 ・言語活動の充実により児童が主体的に学習に取り組み、ジョイントプログラムの結果にも効果が出てきている。 ・「平日1時間以上勉強している」児童の割合が目標の70%に達していない。	・算数科の授業研究を通して授業力を向上させる。 ・「自学自習」を懇談会等で啓発していく。 ・学校図書館支援員と連携し、図書室の有効活用を図る。	⇒	・10月24日に行われるJAET京都大会では子ども達が意欲的に学ぶ姿を見せてほしい。 ・家庭での読書習慣がしっかりと定着していないように感じられる。	・JAET京都大会がスムーズに運営できるように環境整備や大会当日のお手伝いをしていく。 ・保護者が子どもの読書習慣を身に付けさせるように啓発していく。	
2	豊かな心	豊かな心の充実 挨拶や望ましい言葉づかいの徹底 豊かな体験活動の充実	年間計画による人権教育の授業実践 児童会を中心とした発信と地域ぐるみの取組 自然体験活動・社会体験活動の取組 全校合唱	相手の気持ちを考えて行動していますか。自分には良い所がありますか。 子どもは望ましい言葉づかいができていると思いますか 藤城夏祭りや学区民運動会へ児童スタッフとして参加	⇒	・挨拶をする子どもが増えてきた。 ・半数近くの高学年が児童スタッフとして夏祭り・学区民運動会などに参加しているが、PTAや地域行事に参加している子どもの割合は3～5割と少ない。	・「かめのこタイム」など体験活動で感じたことを、自らの言葉で表現する場を充実させる。 ・言葉使いについては、学校運営協議会とタイアップし、学校の教育活動だけでなく、地域行事でも取り組んでいく。	⇒	・登校時、挨拶を返してくれる児童が増えた。 ・児童館では、子ども同士で乱暴な言葉づかいをしている場面もある。 ・躰に関しては小さい時からの習慣が大切である。	・挨拶は大人から積極的に声をかけていく。 ・地域行事での児童スタッフの経験を通して主体的に行動できる子どもを育てるきっかけをつくる。 ・保護者アンケートを活用して学校運営協議会の活動を広めていく。	
3	健やかな体	基本的生活習慣の確立 体力の向上	早寝・早起き・朝ごはんの呼びかけ バランスのとれた食事	早寝・早起き・朝ごはんなど規則正しい生活はできていますか 好き嫌いをせずにバランスよく食べていますか。	⇒	・早起き・朝ごはんができていない割合はほぼ80%を達成しているが、早寝の定着ができていない。 ・7月現在、治療率が30%と低い。	・基本的生活習慣の定着を目指し、保健室だけでなく、学級通信等でも積極的に啓発していく。 ・後期は虫歯の治療率を高めていきたい。	⇒	・就寝時間を早くするため、それぞれの家庭で意識することが大切である。 ・高学年になると就寝時間が遅くなる傾向は続いている。	・望ましい基本的生活習慣の定着はやはり家庭での躰が大切であり、保護者への意識を高めるような取組を考えていく。	
4	独自の取組	小中一貫教育の推進 情報発信の充実	・小中合同授業研修会の実施 ・「吹奏楽のタベ」の実施 ・藤中部活動体験の実施 積極的なホームページの更新	・夏季合同研修の研修内容・研修の持ち方 ・藤中部活動体験での子ども達の学び 学級・学校だより、ホームページなどで学校様子がわかりますか	⇒	・グループ協議だったので忌憚のない意見交換をすることができたという声が多かった。 ・ホームページは、タイムリーな子ども達の様子を掲載し、学校の様子を紹介することができた。	・昨年度の読み聞かせ・授業体験を振り返り、今年度はより効果的な取組について小中連携主任会で話し合う。 ・ホームページは、学年からの発信を増やす方向で更新頻度を上げる。	⇒	・卒業生や地域の方にも挨拶をしてくれることもある。 ・藤中部活動体験は子ども達にとって中学校進学への期待感を高めるきっかけとなる。 ・ホームページは見ると楽しい内容になっている。	・登校時、卒業生にも挨拶の声掛けをし、地域の子もたちが気持ちよく挨拶し合う地域を目指していく。 ・藤中読み聞かせの取組や授業体験などの小中合同行事を積極的に支援していく。	